

白杵市 施策評価シート
(令和3年度)

評価 担当者	課名	氏名	内線
	秘書・総合政策課	望月 裕三	2111

コード	VI-19-45	施策名	広聴・広報機能の充実
施策の方針	情報基盤を整え使いこなす		
まちづくりの方針	社会基盤が整い、行動力ある市民が暮らすまち(社会基盤)		
5年後のめざす姿	市民が市役所に伝えたいと思う意見や要望を気軽に届けられる仕組みを構築します。「市民が必要とする情報」「市として伝えたい情報」をあらゆる媒体を通じて適切に発信し続けることをめざします。		
施策の内容	毎月発行する市報、ホームページ、ケーブルテレビ文字放送で提供する情報の充実を図ります。市民から意見や提言を頂くための専用はがきを市報に織り込むなど広聴に努め、その意見や要望などに対し迅速な回答に努めます。		

<指標>

新規 指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移					
				R1	R2	R3	R4	R5	R6
個人意見や地区要望に対する2週間以内の回答率	目標		%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績		%	99.6	95.8	98.7			
	達成率		%		95.8%	98.7%			
1日あたりの市ホームページへのアクセス件数	目標	1年間のアクセス数÷365日	件	1,850	1,950	2,050	2,150	2,250	
	実績		件	1,730	2,028	2,799			
	達成率		%		109.6%	143.5%			
1カ月あたりの市公式SNSの更新回数	目標	1年間の更新回数÷12月	回	22	24	26	28	30	
	実績		回	20	21	26			
	達成率		%		95.5%	108.3%			
	目標								
	実績								
	達成率		%						
	目標								
	実績								
	達成率		%						
	目標								
	実績								
	達成率		%						
	目標								
	実績								
	達成率		%						

指標の分析
市ホームページのアクセス数は大幅に増加しています。これはコロナウイルスの感染拡大と比例し、特に8月と2月のアクセス件数が通常の1.5倍近いなどの結果によるものです。緊急時の情報取得のツールとしてHPが市民に定着していることが把握できます。また、SNSに関してはLINEの情報提供を中心に取組みを進め更新回数も大幅に増加し、情報提供の機会が増しました。また、市民意見への2週間以内の回答についても、達成率は昨年より増加しており、迅速な回答体制が出来上がっています。

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度	満足度
市民意識調査結果(R3調査)	見直し領域	2.44	2.10	2.06
市民意識調査結果分析	令和3年度実施のアンケート結果では、「必要度」が低く、「満足度」が高い「見直し領域」に位置しており、目標達成の状況やサービスの供給量を検証する必要があります。 昨年度のアンケート結果と比較し、「必要度」「満足度」ともに低下しました。広報媒体の拡充、内容の充実に努めています。引き続き、市民に対して広報広聴の重要性や必要性を周知し、理解を求めする必要があります。			

<次年度以降の課題>

令和4年度以降の課題
コロナ禍にあり、対策に関する情報提供等において、迅速で的確な情報提供が求められている。そのため市報、HP、情報量が増加しているが、3年度より注力してきたLINE活用による迅速な情報提供等の効果を高めるよう今後の取組みをすすめ、各媒体ごとの情報の整理に取組み、効果的・効率的な情報提供体制を作っていく必要があります。

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長 評価	公共 5カ 年	他の 関連施策 コード
				R2年度 実績	R3年度 実績	令和4年 度年度 見込み			
1 広報うすき発行事業	市の広報誌として毎月作成し全戸配布を行います。	秘書・総合政策課	○	10,837	10,727	13,900	継続		
2 ホームページ管理運営事業	ホームページを時代や技術・流行に対応できるように管理します。	秘書・総合政策課	○	1,545	1,591	1,591	継続		
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計				12,382	12,318	15,491			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	課長評価
順調 広報紙、HP、SNS等、広報媒体の特性に応じた効果的な情報提供体制の構築に引き続き取り組む必要があります。特に直接市民に瞬時に情報提供が可能となるLINEの活用に関しては、今後利用者の増加が図れるよう、サービスの拡充と周知に取り組んでいきます。また、市民意見への迅速な回答についても引き続き取り組んでいく必要があります。	課長評価 最重要施策であり、来年度強化する

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

※以降の評価は、令和3年度~令和5年度の3カ年に分けて実施予定。

実施年度	内部評価
令和4年度実施	指標の実績の推移が、ほぼ達成しており、順調に推移しています。新型コロナウイルスの影響等により、SNS等による情報発信に取り組む必要があるため、最重点に強化することとし、最重点施策であり、来年度強化する

<白杵市行政活性化推進委員会による外部評価:最終>

外部評価	評価のコメント
強化	市報及び市の公式ライン等を活用することで、今後も情報が適切に届くように努めるとともに、特に公式ラインについては、周知自体が必要。指標のうち、市のホームページのアクセス件数については、施策の進捗状況を示すものとならない場合もあるので、見直しの検討を。

<白杵市行政活性化推進委員会を受けての市の取組>

市の行政情報を市民により届けることが出来るよう、わかりやすい情報発信に努めるとともに、適切な情報提供方法を検討したい。特に、市の公式ラインの周知は強化したい。指標の見直しについては、ホームページを見てもらうことが大切であるため、指標としていたが、今後も見直しを検討したい。